

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

I 事業及び収入・支出の概要

1. 事業活動の概要

令和 7 年度の事業活動の概要は、以下の通りである。

<調査・研究事業>

農業と光技術に関係する研究者の交流の機会として、令和 7 年度農業・工業原材料生産と光技術研究会を開催した。また、「第 20 回 光科学技術で拓く脳・精神科学平和探求研究会」（国際会議）を開催した。

レーザー科学技術の将来に関する調査研究として、一国内外最新のレーザーを用いた表面処理の動向と将来に関する調査— 4. 質量増加を伴わない溶融プロセス調査を、光産業創成大学院大学に委託した。

<顕彰・助成事業>

光科学および光科学技術分野における秀でた研究者 1 名に、晝馬輝夫光科学賞を授与して顕彰した。また、光科学技術に関する研究への助成としては、第 1 課題「光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について—」および第 2 課題「光科学技術による生命科学分野の先端研究」について広く公募し、令和 7 年度の新規助成として第 1 課題 13 件、第 2 課題 20 件、令和 6 年度採択研究への継続助成として 17 件に対して研究資金の助成を行った。

<普及啓発事業>

光科学技術の一般市民への普及啓発を目的として毎年開催している浜松コンファレンスの第 42 回を、アクトシティ浜松・中ホールで開催し、講演動画を財団 web サイトにて公開した。また、令和 4 年度研究助成に採択した研究の成果報告書集を作成し配布した。

<奨学金事業>

将来の光科学技術の発展を担う人材育成に貢献することを目的として、光科学技術関連分野の大学院博士後期課程学生 8 名に奨学金を給付した。また、令和 9 年度に採用する奨学生の募集・選考を行った。

2. 事業活動における収入・支出の概要

経常収益としては、浜松ホトニクス株式会社からの寄付金 145,000 千円（令和 7 年度は 130,000 千円）、基本財産・特定資産の運用益 55,504 千円に事業収益、雑収益を合わせ、200,892 千円である。前年度に比し 14,772 千円増加した。

経常費用については、事業費が 168,464 千円であり前年度に比し 15,896 千円の増加となった。これは、「第 20 回 光科学技術で拓く脳・精神科学平和探求研究会」（国際会議）を開催したことにより、招待講演者の旅費や会場の使用に伴う費用に充てる旅費交通費と研究費が大きく増加したことによる。管理費は 29,055 千円と前年度に比し 1,158 千円の増加となり、経常費用計は 197,519 千円である。以上の結果、当期経常増減額は 3,373 千円となる。

II 年度末正味財産の状況

流動資産	80,972,569 円
固定資産	2,993,001,717 円
流動負債	14,683,588 円
固定負債	7,200,000 円
正味財産	3,052,090,698 円

III 事業活動の内容

1. 調査・研究事業（公益目的事業 1）

（1）研究会の開催

令和 7 年度農業・工業原材料生産と光技術研究会（第 26 回）	
テーマ	「持続性社会の実現を目指す最先端の食農環境 DX 研究と光技術」
開催日	令和 7 年 10 月 20 日（月）
開催場所	ホテルクラウンパレス浜松
参加人数	91 名（口頭講演者 6 名、ポスター発表者 18 名を含む）

〈資料 1：令和 7 年度農業・工業原材料生産と光技術研究会報告〉

第 20 回 光科学技術で拓く脳・精神科学平和探求研究会（国際会議） The 20th Conference of Peace through Mind/Brain Science	
テーマ	Peace through Mind/Brain Science 20th Anniversary: Photons, Quantum, AI, Life Science and Human Health.
開催日	令和 8 年 2 月 17 日（火）～ 19 日（木）
開催場所	オークラアクトシティホテル浜松
参加人数	130 名（招待講演者 22 名、ポスター発表者 19 名を含む）

〈資料 2：第 20 回光科学技術で拓く脳・精神科学平和探求研究会（国際会議）報告〉

(2) 委託調査研究

光産業創成大学院大学へ下記の調査研究を委託した。

テーマ	レーザー科学技術の将来に関する調査研究
委託内容	国内外最新のレーザーを用いた表面処理の動向と将来に関する調査 4. 質量増加を伴わない熔融プロセスについての調査研究及びレーザー科学技術の将来に関する調査研究についての総括を行った
委託先	光産業創成大学院大学

〈資料3：レーザー科学技術の将来に関する調査研究〉

また、令和6年度に実施した委託研究（委託先：光産業創成大学院大学）の縮約版報告書を財団 web サイト上で公開した。

2. 顕彰・助成事業（公益目的事業2）

(1) 第8回 晝馬輝夫 光科学賞

対象者	日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人で、応募締切時点で45歳未満の者。
応募件数	7件（新規4件 繰越3件）
授賞内容	賞状楯、賞牌、副賞 500万円
受賞者	井手口 拓郎 東京大学大学院理学系研究科附属フotonサイエンス研究機構准教授 理化学研究所光量子工学研究センター チームディレクター
研究業績	先端レーザー技術を用いた振動分光・顕微鏡法の研究

〈資料4：第8回 晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

(2) 令和7年度 研究助成

募集課題	第1課題 光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について— 第2課題 光科学技術による生命科学分野の先端研究
応募件数	第1課題 41件 第2課題 79件
当年度採択件数と助成総額	第1課題 13件 第2課題 20件 総額 34,200千円
前年度採択への継続助成	第1課題 13件 第2課題 17件 総額 15,800千円

〈資料4：第8回 晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

(3) 募集案内

光科学技術に関係する国公立大学の学部・研究科、および研究機関等 339 施設に対し募集要項・ポスターを直接送付し、また、11 学会の学会誌・ホームページに公告を掲載を依頼し広く募集を行った。

(4) 入選者の決定

推薦書・申請書に基づく各審査委員による評価の後、審査委員会及び理事会における審議を経て授賞・助成対象者を決定した。

(5) 贈呈式

令和 8 年 3 月 3 日に第 8 回晝馬輝夫光科学賞並びに令和 7 年度研究助成金贈呈式を開催し、光科学賞受賞者、令和 7 年度研究助成金受領者 26 名、審査委員他財団関係者 18 名を含む 72 名が参加した。光科学賞、研究助成金（目録）の贈呈と謝辞に続き、講演会では、令和 5 年度助成研究から 2 名の研究者と光科学賞受賞者から、それぞれ成果報告講演と受賞講演を頂いた。

3. 普及啓発事業（公益目的事業 3）

(1) 浜松コンファレンスの開催

第 42 回浜松コンファレンス 「新しい文化論」	
内容	光科学技術に関する普及啓発活動の一環として、文化の日に開催した。光に関する最先端科学の講演と芸術（音楽演奏）鑑賞を通して、新しい文化について一般市民の参加者と考えることを目的としている。 挨拶：晝馬 明 公益財団法人 光科学技術研究振興財団理事長 音楽：富士山静岡交響楽団のメンバーによるクラリネット五重奏 クラリネット 塚本 陽子 ヴァイオリン 岡田 恵里 ヴァイオリン 山村 妙子 ヴィオラ 角田 峻史 チェロ 生駒 宗煌 講演：「太陽光と水からきれいな水素を創る光触媒の開発と大規模応用の可能性」 堂免 一成 信州大学アクア・リジェネレーション機構特別荣誉教授 東京大学特別教授
開催日	令和 7 年 11 月 3 日（月）
開催場所	浜松市／アクトシティ浜松・中ホール
参加人数	約 500 名

(2) 研究助成成果報告書集の作成

研究助成事業の成果公開の一環として、令和4年度の研究助成に採択した研究の研究成果報告書集を作成し、関係者へ配布した。

4. 奨学金事業（公益目的事業4）

(1) 事業の状況

採用累計：14名（令和3年度～令和7年度）

令和7年度の給付人数：8名

（内訳） 令和5年度採用奨学生 2名

令和6年度採用奨学生 3名

令和7年度採用奨学生 3名

博士学位取得者累計（令和7年度末時点）：6名（内2名は中途辞退者）

(2) 令和9年度採用奨学生の募集

募集要項のホームページ掲載、指定大学院22校への直接送付に加えて、国内の奨学金の情報を網羅的に集める奨学金サイト「ガクシー」への掲載も行っている。結果として、4大学の学生13名の応募があり、選考委員会での選考・審議と理事会での承認を経て、採用内定3名と補欠3名を決定した。

5. 交流・協力（公益目的事業共通、定款第4条第5号関係）

レーザーによるものづくり中核人材育成講座事業（光産業創成大学院大学）への協力として、事業統括委員会へ参画し、協力金を負担した。

IV 寄附金の受け入れ

運用財産として浜松ホトニクス株式会社から145,000千円の寄附金を受け入れた。

V 充実を図るための組織体制

今後、外部理事／外部監事を配置し、コンプライアンスを強化する体制の構築について承認された。

V 届出・申請

年 月 日	内 容	提 出 先
令和7年6月25日	令和6年度事業報告等の提出	内閣府公益認定等委員会
令和7年7月8日	変更(理事、評議員、監事)の届出	内閣府公益認定等委員会
令和7年7月7日	事業共催承諾申込書 (第42回浜松コンファレンス)	浜松市
令和7年7月7日	後援名義使用願い (第42回浜松コンファレンス)	浜松商工会議所
令和7年7月11日	後援名義使用願い (第42回浜松コンファレンス)	浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー
令和8年1月14日	事業後援承諾申込書 (Mind Brain Science 2026)	浜松市
令和8年1月14日	事業後援承諾申込書 (Mind Brain Science 2026)	浜松商工会議所
令和8年1月14日	事業後援承諾申込書 (Mind Brain Science 2026)	浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー
令和7年3月27日	令和7年度事業計画書等の提出	内閣府公益認定等委員会

VI 理事会・評議員会等会議

理事会・評議員会・審査委員会を次のとおり開催し、それぞれ上程の議案が承認・可決された。

開催日・場所	会 議	議 案
令和7年5月29日 東京都千代田区 Web 会議併用	令和7年度第1回理事会	・ 令和 6 年度事業報告・決算の承認 ・ 審査委員の選任 ・ 奨学生選考委員の選任 ・ 奨学金事業「指定大学院」追加 ・ 謝金に関する規程の改定 ・ 令和 7 年度第 1 回(定時)評議員会開催要項
令和7年6月16日 東京都千代田区 (Web 会議併用)	令和7年度第1回(定時)評議員会	・ 令和 6 年度事業報告、決算承認 ・ 理事の辞任に伴う補欠理事の選任
令和7年6月30日	令和7年度臨時理事会 (みなし決議)	・ 常務理事の選定
令和7年12月4日 東京都千代田区 (Web 会議併用)	令和7年度審査委員会	・ 第 8 回晝馬輝夫光科学賞審査 ・ 令和 7 年度研究助成審査 ・ 令和 6 年度助成の研究に対する継続助成審査
令和7年12月4日 東京都千代田区 (Web 会議併用)	令和7年度第2回理事会	・ 第 8 回晝馬輝夫光科学賞決定 ・ 令和 7 年度研究助成決定 ・ 令和 6 年度助成の研究者に対する継続助成決定 ・ 保有株式に関わる議決権行使の件 ・ 令和 7 年度第 2 回評議員会開催要項の決定
令和8年3月3日 浜松市中央区 (Web 会議併用)	令和7年度第3回理事会	・ 令和 8 年度事業計画・予算承認 ・ 令和 9 年度採用奨学生内定者決定
令和8年3月4日 浜松市中央区 (Web 会議併用)	令和7年度第2回評議員会	・ 令和 8 年度事業計画・予算承認

以上